



令和5年度王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練
の実施に伴う安全対策等について（要請）

王城寺原演習場における米軍実弾射撃訓練の実施に当たっては、去る3月27日、当協議会として、米兵の外出自粛や射撃訓練の実施時間帯への配慮等に加え、くれぐれも事件・事故が起こることのないよう、安全対策に万全を期すとともに、地元に対する適時・的確な情報提供、訓練公開を継続して実施すること等を要望したところです。

これらの事項について、今後とも、国として責任をもって誠意ある対応をされま
すとともに、米軍実弾射撃訓練の訓練日程等が明らかにされたことに伴い、今後、
下記事項についても万全の措置を講ずるよう強く要請します。

記

- 1 訓練部隊の移動に当たっては、関係自治体や施設管理者への事前の周知を図る
とともに、次の事項に十分配慮すること。
 - (1) 仙台空港における離発着が予定される場合には、一般の利用客に迷惑が及ぶ
ことのないよう十分な対策を講ずるとともに、規定の運用時間帯で行うこと。
 - (2) 仙台港港湾施設の使用が予定される場合には、他の船舶及び港湾活動に影響
を及ぼさないよう十分配慮すること。
 - (3) 部隊の移動や訓練物資の移送に当たっては、交通法規を遵守することはもち
ろんのこと、交通渋滞や交通事故等の防止に万全を期すこと。
- 2 米兵の移動に当たっては、地域住民に不安を感じさせないように、銃の携帯方法
等について、十分配慮すること。
- 3 従来からそれぞれ個別に実施されてきた訓練公開とブリーフィングについて
は、近年あわせて行われるようになるなど、簡略化されてきている。

地元との信頼関係をより強固なものとしていくためにも、地元に対する情報提
供を後退させることなく、訓練公開及びブリーフィングを確実に実施するよう、
米軍と調整すること。

令和5年4月27日

東北防衛局長
市川 道夫 殿

王城寺原演習場対策協議会

宮城県副知事 伊藤 哲
大和町長 浅野 元
大衡村長 小川 ひろみ
色麻町長 早坂 利悦

